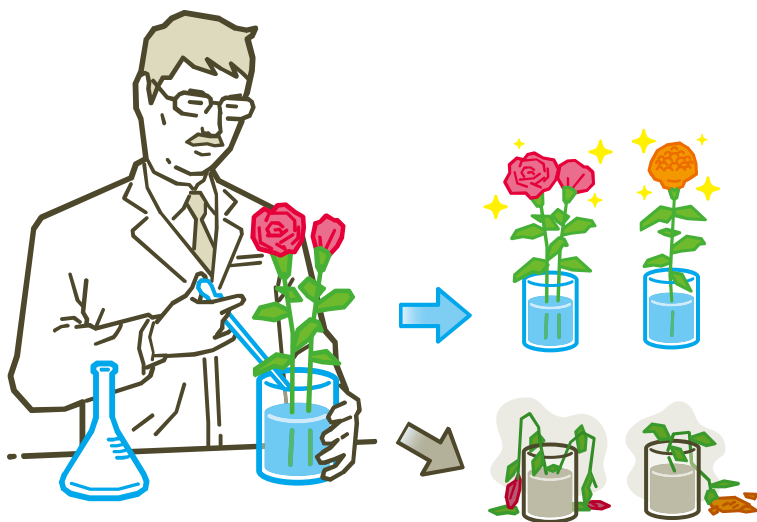
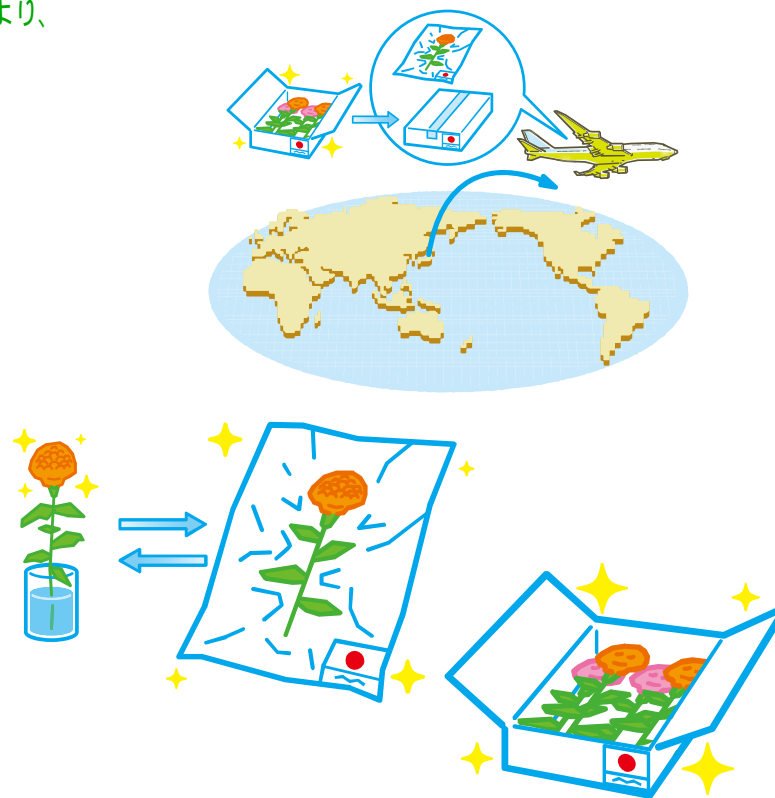


花や緑の高い品質を維持しながら日持ち性を延長する技術開発により、国産花きに対する国内需要を底上げするとともに、高品質な国産花きの海外輸出拡大につなげていきます。



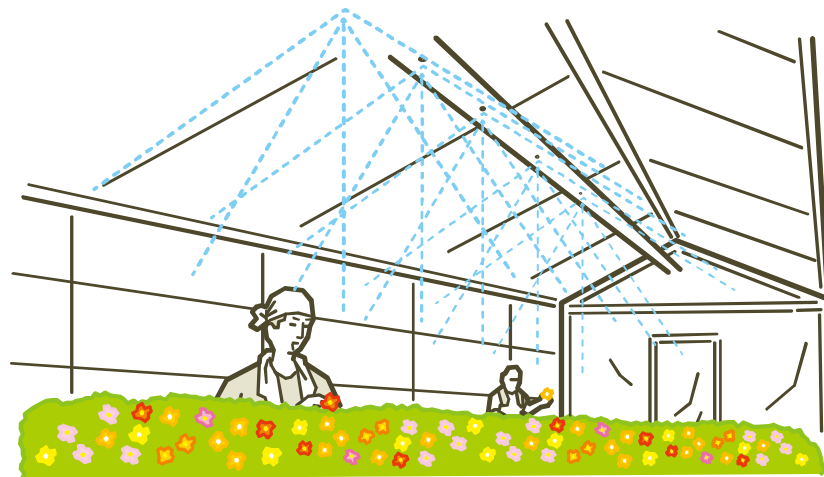
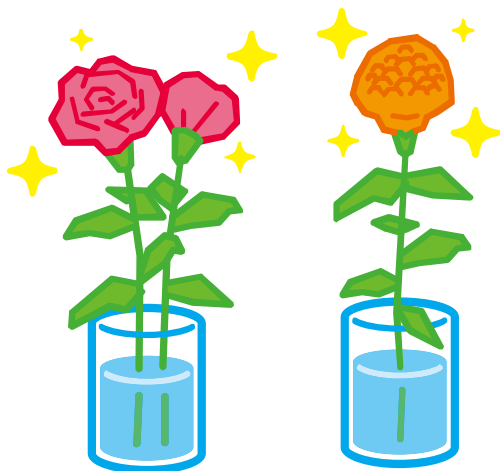
品質保持剤技術の開発

切り花を保持、鑑賞する時に使用する薬剤の開発に取り組んでいます。



低酸素処理 / 梱包資材等の開発・改良

低酸素処理等の環境制御を利用した鮮度保持技術の開発、品質保持剤や梱包資材との併用による物流段階での鮮度保持に関する技術開発を行っています。



日持ち性、早生性等の基盤的品種の開発

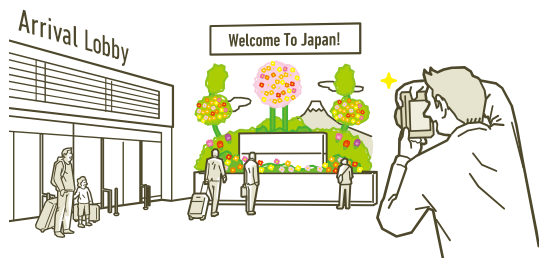
日持ち性や早生性等に関する優良系統品種の選抜
 選抜された優良形質の固定、品種化を図り、複数品種
 での中間母本の育成
 多品目で展開し、我が国の品種開発力を総合的に強化
 民間等の育種を下支え
 対象品種はバラ、ダリア、カーネーション、キク、スイートピーなど

夏場における花きの安定生産技術等

(局所温度制御、細霧冷房、病害防除技術の開発・改良)

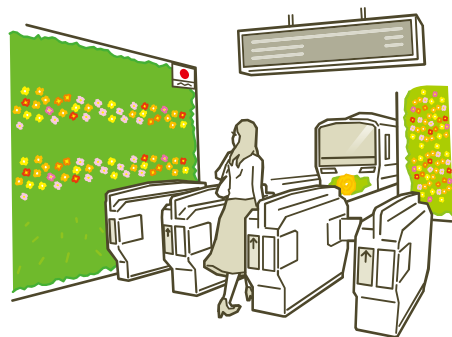
局所加温技術や細霧冷房等の技術を活用し、夏場における
 花き生産施設における低コスト・安定生産技術の開発
 開発した技術のマニュアル化による生産現場への
 早期普及・実用化の検討
 病害防除技術の開発により、減農薬栽培を可能とし、
 生産コストの低減・安定生産技術体系を構築

Scene1 国際空港



到着ロビー

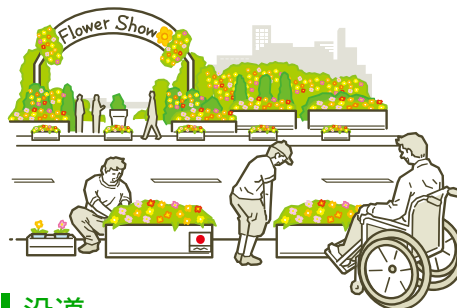
飛行機を降り到着ロビーへ移動すると、“和”をテーマにした花と緑の巨大なディスプレイが選手団や来訪者を印象的にお出迎えします。



空港直結の鉄道駅

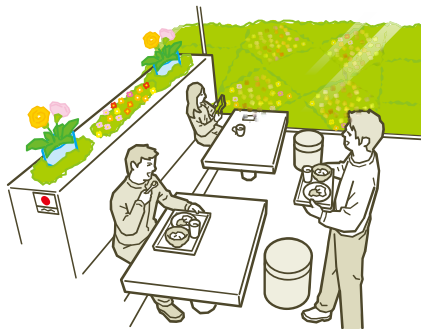
空港から市街地へ電車で移動します。普段は少し無機質で味気ない駅の改札口やホームなども、花と緑によるおもてなしの雰囲気が溢れています。

Scene2 街の中



沿道

電車を降り街中へ出ると、ボランティアの方々が沿道を花で飾っています。近くの広場では、花き生産者が花きの技術を競い合うフラワーショーが行われているようです。



選手村

選手村の広場やフードコートは花や緑に囲まれた心地よい空間になっています。選手たちの激闘の疲れを癒すため、リラックス効果のある花や緑が活躍します。

Scene3 競技会場



競技会場の周辺

競技場への沿道はおもてなしの花や緑で彩られ、暑さ対策等で壁面緑化やミスト噴霧が設置されている中を人びとが楽しそうに会場へと向かっていきます。



表彰式

表彰式では、日本らしさを演出したピクチャーブーケを贈呈。メダリストへ授与される様子がテレビ中継で全世界へ配信され、日本の花きの素晴らしさが全世界へ発信されます。